

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（高浜1、2（3、4）号炉（371）」
2. 日時：令和4年8月3日 16時30分～18時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

奥企画調査官※、深堀上席安全審査官、鈴木主任安全審査官、伊藤安全審査官、
三好技術参与※

技術基盤グループ

システム安全研究部門

山本技術研究調査官、酒井技術研究調査官

関西電力株式会社：

燃料保全グループ チーフマネジャー※ 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

規制庁配布資料

- ・修正一群拡散理論から導かれる近似式（バックリング）で計算した結果に対する意見

以下のホームページ掲載済みの資料を使用

- ・6/22 ヒアリング 事実確認事項への対応（令和4年7月25日提出資料）
- ・高浜発電所1号炉及び2号炉 設置許可基準規則等への適合性について（使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更）＜補足説明資料＞（令和4年7月25日提出資料）
- ・申請書記載内容に関する補足説明（令和4年7月25日提出資料）
- ・高浜1号炉及び2号炉 設置許可申請書記載（令和4年7月25日提出資料）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁井藤です。それではこれから高浜SFPについてのヒアリングを開始したいと思います。
0:00:10	まず本日の資料についてですけれども、
0:00:15	まずは7月25日に関西電力から提出してもらった。
0:00:22	資料ですね、コメン等リストと、
0:00:26	資料1の補足説明資料、資料1-2の記載ない申請書記載内容に関する補足説明。
0:00:34	それから資料②、申請書記載の比較表。
0:00:40	それから、
0:00:42	本日、こちら、規制庁側から提示する
0:00:48	1枚が見ですね、修正1群拡散理論から導かれる近似式で計算した結果に対する意見。
0:00:55	というものがございます。
0:00:59	本日のヒアリングは二部構成で考えておりまして、まずは妥当性確認解析の妥当性確認について、
0:01:10	質疑応答を実施し、そのあと宣誓書の記載ぶりについて、ヒアリングを行いたいと思います。
0:01:20	あと、
0:01:21	よろしければ、早速妥当性確認の方に入りたいと思いますけれども、関西電力側よろしいでしょうか。
0:01:32	関西電力の志村です。問題ございませんよろしくお願いします。
0:01:37	はい。それでは規制庁側から始めます。
0:01:42	規制庁鈴木です。10月25日の資料01。
0:01:48	設置許可基準規則等への適合性についての補足説明資料の抜粋で、
0:01:56	別添3と別紙1。
0:01:59	を出していただいています。
0:02:01	この資料は、7月14日の審査会合において、
0:02:09	審議した内容を受けて、
0:02:13	一部、関西電力の方で修正された内容で、再提出。
0:02:19	されているものと認識しています。
0:02:22	それ以外のところで何かしら関西電力の方で修正をかけた。
0:02:30	ところがありましたら、その部分について簡単に、
0:02:36	説明をお願いできますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	関西電力の新村です。資料の修正の内容としましては、前回7月14日にいただいたコメントの修正が主でございます。
0:02:59	一部ですね例えばで申し上げますと、その別添3-8。
0:03:05	に、
0:03:07	別添3の8ページをちょっとご確認いただきたいんですけども、
0:03:15	ちょっとこの文章の中にですね類似解析との比較をするに当たって、基本ケースとの結果との大小、記載をしておりますけどもこちらに対してデジタル値、
0:03:28	があった方が数字で一発でわかるかなということで、デジタル値をしております。そのような低下とはしておりますけども、内容としましては変更した分、
0:03:41	修正した部分というのは7月14日、ごめん。
0:03:44	会合でコメントいただいたもののみでございます。
0:03:48	はい。規制庁鈴木です了解しました。
0:03:53	追加ですん修正されたところ等については、
0:03:58	後でこっち規制庁側の方で確認をしておきます。
0:04:02	今日の確認は7月14日の
0:04:08	審査会合で、
0:04:13	審議したところ、
0:04:17	として、
0:04:20	別添3の4ページ。
0:04:24	の、
0:04:25	2ポツのベンチマークに関わるのところ、この辺の記載について、
0:04:32	確認をしたというところと、
0:04:35	それから、
0:04:39	別添3の8ページ、9ページですね。
0:04:44	その上の第3-3図、これについて
0:04:49	解析条件の不確かさの影響評価である感度解析係数、
0:04:55	①から④までを追加で記載をしていただいたと。
0:05:00	この2点が主だったものだったと思います。で、まず、
0:05:07	後者の別添3-9の第3-3図、
0:05:11	ですけども、
0:05:17	もともと白抜三角の類似解析③。
0:05:21	それから、
0:05:24	赤ひし形、白抜きの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:27	基本ケース、これが、
0:05:29	記載されていてそれが、
0:05:33	ほぼ同じような、
0:05:37	傾向の線上に乗ってくると、そういったことを、
0:05:42	審査会合で説明されていたわけですがけれども、そのときに、ケース①から④についても、
0:05:48	同じようにプロットされた場合に、同じような傾向になるかというところを、審査会合の場で、
0:05:55	確認しましたところ、口頭で、ケース①③④については、
0:06:01	大体同等のところ載ってくるというご説明がありましたそれが、
0:06:05	黄色の三星丸。
0:06:08	青塗り潰し丸緑のR I S防止マルで
0:06:14	K R O T O Sされたところでこれは口頭説明の通りの結果になっているところですので、
0:06:21	了解したところでございます。
0:06:24	一方、
0:06:25	ケース②については、
0:06:29	審査会合の場においては、一応確認をして、もし戦場にならない場合には、
0:06:35	説明を追加するということでしたので、
0:06:39	これについて、
0:06:42	前のページの、
0:06:43	別添 3-8 の一番下の、
0:06:47	段落 4 行。
0:06:49	ここで説明を追加されて、
0:06:52	いるとを確認しました。
0:06:54	まず、
0:06:56	このケース②について、空間平均水密度、
0:07:02	が、
0:07:05	3 掛け 3 から 5 掛け、5 の間で、
0:07:11	コンマ 06 弱から、
0:07:14	コンマ 1 強。
0:07:16	コンマ 11 ぐらいまでですね。
0:07:22	に相当するような空間平均密度に、
0:07:26	なっていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:28	いうところは了解です。つまり、
0:07:31	白抜三角の類似解析③でいうと、最適減速の状態に近いようなところまで、
0:07:40	水密度が上がってきている。
0:07:42	ということだと理解しました。
0:07:45	このときに、
0:07:49	類似解析③の白抜三角よりも、実効増倍率が、
0:07:55	低いことについて、関西電力から端的に、核分裂に、
0:08:01	核分裂反応に寄与する燃料集合体の数が、
0:08:06	類似解析③より少ないからだと。
0:08:09	そういう説明になっています。これについては、
0:08:14	この前段の説明ここまでの説明ですね。
0:08:18	理解していればですね、そうだなっていうふうに、
0:08:22	思うんですけどあまり端的に書き過ぎているので、その前段まではですね。
0:08:27	ロブツリーん。
0:08:29	の炉物理的な考え方で、
0:08:33	説明をずっとしていると思いますので、
0:08:36	この燃料集合体の数が少ないというのは、最適原則に、
0:08:43	近いような空間平均三角数になっている。
0:08:47	集合体が、
0:08:49	3ヶ月3から5掛け5まであって、その中では最適減速の状態なんだけど、
0:08:55	その外側の他の集合体の部分は、ほとんど水がない要するに飽和蒸気しかないので、
0:09:03	元素食うにはほとんど寄与しない状態になっているから、
0:09:07	3ヶ月3から5掛け5の範囲内で発生した中性子が、
0:09:14	周辺部分のところが、
0:09:18	それ以外の集合体の方に逃げ中性子が逃げていてですね。
0:09:22	中性子のいわゆる漏れが水平方向で起きていると、こういうふうに、
0:09:28	理解したんですけども、関西電力が言いたいのはそういうことでよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:37	関西電力の新村です。まさに、鈴木さんは今おっしゃっていただいたことを推察申し上げたかった次第でございますちょっと端的に書き過ぎているところがございますので、
0:09:48	今のお話ですね最適原則となる領域が3掛けるサービスと9台ですとか、5×5の範囲ですと25台とか、そういうかなり少ない。
0:09:58	局所の形なので、水平方向への漏れが効いてくるということで、結構台数が下がっているんだというようなことが
0:10:06	もう少し読み取れるような記載にしたいかなと考えてます。
0:10:10	規制庁鈴木です。認識が一致しておりますので、
0:10:13	今、関西電力言われたような資料の修正をして読み手が読みやすくなるようにしていただけたらなと思います。
0:10:23	それからですね。
0:10:27	別添3-4。
0:10:29	の2ポツのベンチマークの、
0:10:33	ところの話なんですけれども、
0:10:39	ちょっと
0:10:41	修正された内容がですね。
0:10:44	読むと誤解をしそうな、
0:10:48	書き方になっているので、
0:10:50	記載をもうちょっと正確に書いていただきたいなという観点で、
0:10:58	確認をしますんで、
0:11:00	まず3行目のSCALEコードへ入力する液膜の、
0:11:05	幾何形状は、
0:11:07	年間というふうに書いてるんですけど、これは、
0:11:11	年間ってのは、
0:11:13	中部の方ではなくって、
0:11:16	リング状に、或いはトーラス状に液膜が、
0:11:23	ついているということを言っていて、一方でその4行目のベンチマーク解析において、
0:11:31	円環形状の物質が存在する臨界実験というこの鉛管ですね、小令和、
0:11:37	まさにチューブだと思うんですけどいわゆる核燃料物質が円柱状に、
0:11:43	存在していることを、
0:11:45	言っていると思っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	そういうふうに、
0:11:50	読んだときに、2段落目のこのことよりSCALEコードはと。
0:11:55	言っているところの一つ目のかぎ括弧二つ目のかぎ括弧。
0:12:01	この内容というのは、今まさに言った円柱状に核燃料物質が、
0:12:07	存在していて、それが漢文をなしていて、
0:12:12	その円柱状の核燃料物質の周りに、リング状もしくはトーラス状に、
0:12:19	液膜が、
0:12:21	できている要するに駆は、
0:12:24	軽水の減速材ですね、こういったものがあると。
0:12:28	これ審査会合のときにも言ったんですけど、
0:12:32	非均質の管群形状になっている。
0:12:36	ということを、
0:12:38	言いたいのかなというふうに、今読んだんですけれども。
0:12:42	もしそういうことであれば、
0:12:45	もう少し、今私が言ったようなですね、
0:12:51	下記点検管を適切適正官書き方オキ適正化していただいて、
0:12:57	誤解がないように書いていただけたらなと思うんですけれども、いかがでしょうか。
0:13:14	関西電力の新村です。ちょっとまず、
0:13:21	ちょっとイトウ確認させていただきたいんですけども。確かに今回の液膜というのは、トリング上といいますか、変換の形状をしております。
0:13:34	一方で
0:13:37	何て言ったんですかね
0:13:39	同じコードを用いて変換形状加工燃料代や被覆管と書いてあるところの、年間てお示しをしたところの中にある燃料代はこれは
0:13:51	のことをちょっとさしていただき付けペレットですとか、燃料棒を行ったものをちょっとさしてたんですけども、こちらはある意味、テープであれば
0:14:01	沿岸というよりかは、円柱中であると、要は区、中が、
0:14:08	何ていいですかね。埋まっている施設。
0:14:12	言ってあると。
0:14:13	で、多分その書き分け、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:18	がなされていないので、これらと液膜ってというのはその鉛管用は、
0:14:24	今回設定するのは、リング状っていうのにもかかわらず
0:14:32	円柱というところもひっくるめて帰ってしまうと
0:14:37	何か管群、
0:14:40	そうですね、燃料棒というのは、まさにそのペレットが被覆管があると。つまりそのA、
0:14:48	どっちを下に言うかですけども、半分を出している体系。
0:14:54	変換の流出が、
0:14:56	体系っていうところがちょっと言いすぎてる。
0:14:59	部分があるので、この円柱と変換というところの区別がしっかりわかるように、
0:15:06	機械を誤解を新たに公開を与えないように改めるという
0:15:12	かなと思ってお聞きしたんですけども、認識、間違っていないでしょうか。
0:15:19	規制庁鈴木です。なぜそういったことを申し上げたかというのと、
0:15:24	2ポツの1段落目の5行目以降のところ、ベンチマークの話と、スケールに入力した。
0:15:33	話を書いてありますけれども、
0:15:38	スケールに入力した方の液膜の幾何形状あらかず変換これをチューブと書いていて、
0:15:46	ベンチマークの方で、円柱状に核燃料物質が、
0:15:51	存在している。これも鉛管チューブと書いてあるので、
0:15:57	どっちもおんなじことのように、
0:15:59	誤解してしまう人がいるんじゃないかなと思って。
0:16:03	そこを書き分ければ、貝瀬スケールコードへの流行している液膜の、
0:16:09	幾何形状の話と、それからベンチマークで見ている。
0:16:13	円柱状の核燃料物質が存在している。
0:16:17	状態っていうのが違うことを言ってるんだよっていうふうに、読めるんじゃないかなと思って。
0:16:24	そこを書き分けた方がよろしいんじゃないですかってことを申し上げました。
0:16:30	理解いただけましたでしょうか。
0:16:49	関西電力の志村です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:52	藤。
0:16:54	ちょっと我々が言いたかったのは今回スケールにインプットする。
0:17:00	正常というのがまずエンターリング状のものであって、
0:17:07	過去の許認ベンチマークにおいてもそのエンタルピ以上のもの、もちろん中部のもの、中部ですね、10、
0:17:17	円柱状のものが入ってる体系もあればその鉛管形状を入力して、実施しているベンチマーク解析っていうのも、
0:17:27	ありますと、というそういった意味でこのスケール、ごめんなさい。
0:17:33	液膜と同じK i t a形状。
0:17:36	変換のリング状といいますか、の物質が存在する体系。
0:17:44	を適切に評価できるコードであるということを、
0:17:49	対応したものでございます。
0:17:51	規制庁都築ですそこは理解してるんですけども、
0:17:56	そこに素行でですね、円柱状の物質の周りを
0:18:01	水が主、減速材が占めている状態においては当然それベンチマークあるんですけども、
0:18:08	減速材が、チューブの周りリング状に液膜としてついている状態のベンチマークは、
0:18:15	ないという説明だったと思いますので、そこを誤解してしまうんじゃないかということで書き分けられた方が、
0:18:22	いいんじゃないかということで申し上げたところです。
0:18:41	関西電力新村です。少々お待ちいただいてよろしいでしょうか。すいません。
0:18:46	規制庁鈴木です。了解しました。
0:20:12	関西電力の志村です。確かに今のこの鉛管というところの記載でき、統一をしてしまうと、おっしゃるようにちょっと
0:20:23	そのベンチマークにおいて、燃料玄関の周りにさらに鉛管をつけた、今回のそのスケールに入力したような液膜。
0:20:34	鉛管の
0:20:35	それにさらに外に変換形状のものをつけましたっていうことをベンチマークしたと。
0:20:41	いうふうにちょっと誤解を与え、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	記載に今現状もなっていると、ということかと思いましたが、そこそこを書き分けるというふうに修正をしたいと思います。
0:20:55	はい規制庁スズキです。お願いします修正にあたっては、
0:21:00	液膜の鉛管はリング、要するに円の様の間ですよね。
0:21:07	ていうような感じになるかと思っていて、
0:21:11	核燃料物の方は今のチューブのままでもいいですけど、円柱状っていうふうに
0:21:18	書かれる方が、違うんだなっていうのがよくわかる気が。
0:21:23	するのでそれは日本語としての表現の仕方ですので、
0:21:28	なるべくわかりやすい、誤解されないような、
0:21:34	漢字の使い方にしていただければいいんじゃないかなというところでそれが一段落目、2段落目の方の、
0:21:42	かぎ括弧一つ目と二つ目の話は、
0:21:47	こういうふうに言うよりも先ほど言ったような、
0:21:52	漢文体系で
0:21:55	燃料物質と、
0:21:57	減速材が卑近数になっている。
0:22:00	体系を評価できるコードだというふうに単純に言えば、
0:22:05	いいだけな気が。
0:22:07	した、したんですけれども、
0:22:10	そういうことを、
0:22:14	7月14日の審査会合で、
0:22:17	そう表現したつもりだったんですけれども、
0:22:20	そういうふうに直されたらどうかなという、
0:22:24	我々の提案なんですけれども、いかがでしょうか。
0:22:32	関西電力の志村です。
0:22:36	確かに勘定が存在する体系。
0:22:40	を評価できる。
0:22:44	としてもですね何らおかしくはないといえますか、
0:22:50	整合がとれますので、
0:22:54	そうですね。文章の方を適切に見直したいと。ちょっともとの趣旨としてはその液膜と同じようなちゅチューブ、
0:23:02	の体系が何かしらチューブのような幾何形状の物質が体系の中に存在する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	としても、ちゃんと適切に評価できましたよということを記載しているものなんですけどもそれは、つまり今まさにおっしゃられた時に、
0:23:25	今回のその許認可解析でもですねその管群が燃料棒と日燃料体等、被覆管、それぞれがそういう関連をだして存在する体系を
0:23:37	評価できているということにも
0:23:39	繋がりますので、
0:23:43	ご指摘のような形にちょっと見直したいなと考えております。
0:23:47	はい。規制庁鈴木ですよろしく申し上げます。
0:23:50	それはまた
0:23:52	同じページのですね3.1. 1、
0:23:56	なんですけれども、これも何かうまいこと記載できてないかなっていうだけなんですけど。
0:24:03	下の3行目の、
0:24:09	既許認可解析欠陥と区長よりというところからなんですけど、
0:24:17	上の水密度1.0から0.5。
0:24:21	それから水密度0.5から0.1。
0:24:24	こういうところで、
0:24:27	実効増倍率が単調減少短上昇していくという、
0:24:32	特徴とも書いてるんですけど。
0:24:35	日本語としてですねこの特徴から、0から0.1の範囲の、
0:24:41	傾向を説明できるとは思えないので、
0:24:44	この特徴よりっていうところは、何か説明が繋がってないなというふうに思いました。
0:24:51	で、ここで言いたいのは、
0:24:53	その次の、
0:24:55	文章ですね、SFPの燃料感覚が基本ケースで、
0:25:00	想定する液膜厚さより十分大きくて、中性子が隣接燃料以遠まで、
0:25:07	移動していくような、
0:25:09	状況にあるから、次のページの、
0:25:13	最初の三行に書いてあるように、空間平均イズミットで、
0:25:18	解析を整理できるような原則状況なんですよと、そういうことを言いたい。
0:25:24	だけかなと思いましたので、先ほどの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:28	4ページの下から3行目から2行目し、下から2行目までのところの、
0:25:35	考えられるというところを、あえて何かここ。
0:25:38	言わなくても、
0:25:39	単純に移設、
0:25:42	今回の
0:25:44	流量で、
0:25:47	水の流量がすごい少ないような時においては、
0:25:50	そういう状況になるから、そういう空間平均水で整理できるんだよだけ。
0:25:56	言えればいいだけのような気がするんですけども、関西電力として何か他の意図があったりだとか、
0:26:04	にして何かこう変えたりしてる。
0:26:07	わけではないですよ。
0:26:09	いかがでしょうか。
0:26:15	関西電力の新村です。
0:26:18	す。
0:26:20	おっしゃる通りかと、今も言っておりますので、
0:26:26	この
0:26:27	おっしゃっていただいたように、我々がお示したいのはこの低水密度のような状況だと、もう中性子が遠くまで飛んでいくような状態なんですよということがちょっと言いたかったもので、
0:26:38	ちょっとこの低密度においては、いうところは
0:26:43	なくても、文章繋がりますので、
0:26:49	発表しようかなと考えております。
0:26:52	低水密度においてはっていうのは必要かなと思います。
0:27:00	ええ。
0:27:03	失礼しましたその前からですね、
0:27:08	と、
0:27:17	ちょっと水密度が1.0から0.5のところ、
0:27:23	から、
0:27:27	削除をする。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:29	岩手古賀減らなくて、市長より、関西電力の福原です。杉さんおっしゃっていただいたように、水水野 1.0 から 0.5 云々で 0.5 から 0.1 分の
0:27:44	前書きからですね低密度 0 から 1 においてっていうことが導かれるのは、労働時間ではないのでそこはいらないと思ってます。ただ、
0:27:56	我々としてはその併入水どうにおいて、すなわち、そういう状態の中性子が遠くまで飛んでいくのと、こういうところからだけ書き始めればいいかなと思いますので、今ちょっと私持ってますのは、何とか局長よりというところまでをカットした形でうまく文章収まるような感じになればいいかなと思っています。はい。
0:28:18	はい規制庁スズキです。こちらの認識も同じですので、適正化していただければと思います。よろしくお願いします。
0:28:28	では、修正していただいたところは、
0:28:35	以上かなあとと思いますけれども、一方で我々から今日、
0:28:41	ご提示しました、バックリングのところですね、3.2 以降の、
0:28:49	ところの説明についての、我々の意見として資料を出して、出させてもらっておりますけれども、
0:28:57	こちらについて説明していきたいと思いますが関西電力よ、ここまでよろしいでしょうか。
0:29:05	関西電力新村です。ここまでについた
0:29:10	問題ございません。引き続きよろしくお願いいたします。
0:29:14	はい規制庁スズキですでは続けていきます別添 3-9 の、
0:29:18	3.2 節、
0:29:24	のところから、ページでいうと別添 3-13、
0:29:30	までですね。
0:29:33	その内容について、我々規制庁側からお出した。
0:29:39	意見としたペーパーを説明していきます。
0:29:44	で、これ、
0:29:46	このペーパーはですね、
0:29:48	特段新しいことを言ってるわけではなくて、
0:29:52	今年の 4 月 7 日以降、
0:29:57	我々が特にですね、ミヨシとかヤマモトあたりが、
0:30:01	確認をしたりだとか、審査会合において、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:07	意見を述べたりだとかしたものを、端的にまとめたものになりますので、
0:30:12	改めて今日、
0:30:14	出すものではございません。書面化したというだけです。そうご理解ください。
0:30:20	で、言いたいのはですね。
0:30:22	両括弧 1 の両括弧 2 が意見です。
0:30:26	で、両括弧 3。
0:30:28	から両括弧 5 は、
0:30:30	記載上の話ですので、適正化、負わされをされたらどうですか。ってことを書いてるだけです。
0:30:38	両括弧 1 の両括弧に同じこと言っていますので、
0:30:41	簡単にお話していきますと、
0:30:47	関西電力の資料の方の別添 3 の 9 ページの、
0:30:52	3.2 節の、その同じページの説明 6 行の部分ですね。
0:30:59	ここについて、
0:31:01	の話になります。
0:31:04	その説明というのは、我々のペーパーの方で言うと、両括弧 1 の、
0:31:10	5 行目までですね、そこを転記しているだけですけれども、この説明というのは、
0:31:16	基本ケースの気相部の水分条件、
0:31:21	こういう、
0:31:22	それほど大きく多くはない。まさに同じページの第 3-3 っている。
0:31:28	白抜き菱形赤ひし形の基本ケースのことですね。
0:31:33	こういったような水分条件のとき、中性子の減速効果ってのは無視できないということ。
0:31:41	とですね、それから、そういう状態であったとしても、
0:31:46	その時の軸方向の中性子束分布が、液相部を中心として概ね、
0:31:52	コサイン分布であることを、
0:31:55	前提として書いているんですけど、残念ながら説明が、
0:32:00	それができていないんですね。
0:32:02	で、説明ができてないにもかかわらず、
0:32:05	最終行のですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:08	それぞれの傾向と整合していることを、
0:32:13	確認するという目的を、
0:32:15	書かれているんですけど。
0:32:17	先ほど言ったような説明ができてないのに、整合確認できるとはちょっと言い過ぎているというふうに我々思っていて、
0:32:26	到底先ほど、
0:32:28	我々が言った説明をしない限りにおいてはその確認はできないと。
0:32:33	いうふうに思っています。これは7月14日の審査会合でも、ヤマモトの方から、SCALEコードのですね拡散理論の、
0:32:42	オプション使ってますね、こういった中性子束分布の、
0:32:46	確認計算をされたらどうですかっていうところは、
0:32:50	聞いたところですけどもそれについては、関西電力津の方からは、端的に言うとノーだと。
0:32:57	いうふうにオキの答えがありまして、
0:33:00	それでしたら、そのときにも、
0:33:03	ヤマモトから一つ提案したんですけども、我々のペーパーでいうとですね両括弧1の、
0:33:11	下側から5行目のそこでというところですけども、
0:33:17	ここの3.2節ではですねSCALEコードの比較対象とする解析ケースをですね、
0:33:25	基本ケースではなくって、気相部が飽和蒸気だけの、
0:33:29	要するに、
0:33:31	中性子の減速効果がきそうでは、られないような条件での解析、これは、
0:33:37	関西電力の資料でいうと、
0:33:41	別添3の、
0:33:47	3ページの、
0:33:50	第3-1-1の、
0:33:53	3-1-1の図で、
0:33:56	書いてある参考と書いてある白抜丸破線のケースですけども、
0:34:05	このケースと、
0:34:07	修正1群拡散理論から、
0:34:10	導かれます近似式、関西電力の資料でいうと、別添3の10ページで言っている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:19	①式と、
0:34:22	丸認識ですね。
0:34:24	これの計算結果を比較して、
0:34:29	相似であるかどうかを確認する。
0:34:32	ということだけやればですね。
0:34:34	スケールは気相と液相を考慮して、輸送方程式を持って帰るので、
0:34:40	起きますのでそのまま解いてるようなものと、近似式で、
0:34:45	計算したものっていうのが、
0:34:48	相似の傾向を示せばですね。
0:34:51	水位低下に対する傾向の妥当性は確認できるというふうに、
0:34:58	いえるんじゃないかというところを、
0:35:00	両各地と両括弧2で示しております。
0:35:04	ここの、
0:35:06	意見について関西電力としては、
0:35:09	いかがでしょうか。
0:35:19	関西電力の新村です。我々としましてはこの(1)カッコ2の記載内容については基本的に拝承。
0:35:30	さしていただきたいなと思っていますつまり
0:35:36	修正気分で実施評価した。
0:35:41	先んじ式で評価した値と気相部が飽和蒸気という状態において、
0:35:50	レコード枚数が単調に減少するっていうところが装置の傾向であるということをして、すればその部分水位の評価する時に園田団長に検討していくんだよ。
0:36:02	いうところが、適切に
0:36:06	自己、碓井伊達の実行の画像評価できる、できますよねという、できてる行動ですよねということがいえるという、説明の仕方としては適切かなと考えております。
0:36:19	大変確認をさしていただきたいのが、
0:36:25	お掃除という表現をしていただいているんですけども、この掃除というのがですね区長に減少していくというところでもって、その傾向が、
0:36:39	同じですという意味で相似、
0:36:41	という。
0:36:43	意図で記載をしていただいているのかそれとも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:47	そういう意図で、認識しをしたんですけども、
0:36:53	意識は間違っていないでしょうか。
0:36:56	規制庁鈴木ですそのつもりで書いております。あとは、
0:37:01	ガイソウ距離をどうとるかによって傾きが変わって、
0:37:05	ますので、
0:37:07	その傾きの一致までを我々は求めているとは思う。求めるものではないというふうに思っておりますので、それは、
0:37:17	関西電力からこれまでも違う体系でとられた、TCAという体系でとられた。
0:37:23	データをもと
0:37:24	使ってやっているというところがありましたので、そこはなかなか難しいだろうなというふうに思っておりますので、
0:37:32	先ほど関西電力が認識されたような意味合いで掃除という、
0:37:39	言葉を使ってみました。そこが、
0:37:41	関西電力としてもう少し、
0:37:43	適切な表現方法があるということであれば、
0:37:48	そう書かれればいいかなというふうには思いますけれども、
0:37:54	関西電力の志村です。ちょっと我々としましてもこの掃除という表現がベストかなと考えておりますので、
0:38:05	ちょっと資料の修正につきましてはこの(1)(2)の
0:38:12	方向性として、拝承させていただきたいと考えております。
0:38:16	ちょっと資料の記載ぶり、
0:38:20	記載ぶりとか図の1としての示し方だけ、1点だけご相談させていただきたいんですけども、
0:38:26	別添の3の13ページをちょっとご確認いただきたいと思います。
0:38:37	はいどうぞ。
0:38:41	こちら、今その基本ケース、
0:38:43	あと、修正自分にとる評価結果それぞれひし形と0で記載しております。観光としてディック方向外挿距離をふやしてみましたというのを、三角と四角で記載しております。
0:38:57	ちょっとこちらにつきましては、今の説明の絵の方針になぞりますと、
0:39:04	この基本ケースというものがちょっと消えまして
0:39:10	双方が上記にした値が、この図に代わりに記載をされるという形になるかなと、理解をしておるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:23	イメージとしてはタッチしてますでしょうか。
0:39:27	規制庁鈴木です認識は合っていますので、それで結構かと思いません。
0:39:34	浅利キムラですありがとうございます。
0:39:39	はい、そのように修正をさしていただきたいと思います。
0:39:42	ちなみになんですけども、今(1)、(2)のご説明、ご意見をいただきましたけどもこの(3)から(5)まで、
0:39:56	について適正化のご意見いただいておりますけどもこちらについても、
0:40:04	拝承させていただきたいなと、その通りかなと思いますので拝聴させていただきたいなと考えております。
0:40:11	はい規制庁スズキですそこ今から説明しようと思いますけど読まれて、
0:40:16	同意だということであればその通りにしていただければ結構です。
0:40:21	規制庁からはこの妥当性確認についての確認。
0:40:26	それからこれまで説明した内書面でご提示した内容の説明以上になりますけれども、
0:40:33	関西電力の方も他に特段この妥当性確認についての、他に、お話しておきたい確認したいことということは、
0:40:43	ないでしょうか。
0:40:44	よろしいでしょうか。
0:40:48	浅井金城藤村です。特に追加ございませんありがとうございます。
0:40:52	はい。規制庁鈴木ですありがとうございます。では、まず前半の一部、一対一分はこれで、
0:40:59	終了したいと思います。こちらのニーズ、参加者変わりますので、
0:41:06	一旦ちょっと、
0:41:08	5分ほど時間をあけて、
0:41:11	再開したいと思いますけども関西電力の方、それでよろしいでしょうか。
0:41:17	関西電力新村です。問題ございません。お願いいたします。
0:41:21	規制庁スズキでは17時20分から再開ということをお願いいたします。一旦これで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:31	止めますけれども接続はそのままにしといてください。
0:41:37	笹井シムラ医師了解いたしました。
0:48:31	季節をイトウです。それでは、再開したいと思えますけれども関西電力側よろしいでしょうか。
0:48:39	はい。関西電力の山野でございます。こちら準備できております。よろしく願いいたします。
0:48:44	はい。江藤オクさん、全部よろしいでしょうか。
0:48:48	はい。大丈夫です。
0:48:50	はい。
0:48:50	それでは申請書の記載ぶりについてこちらでの確認結果、
0:48:56	前回のヒアリングで確認すると言っていたところの結果をお知らせします。
0:49:03	規制庁鈴木です。関西電力の資料、
0:49:08	②の、
0:49:10	5 ページの真ん中辺り。
0:49:13	記載適正化案の欄ですね、これの欄の、
0:49:17	真ん中あたりから、
0:49:19	次のページ、6 ページ。
0:49:22	まで黄色ハッチングしているところを中心に、
0:49:26	前回のヒアリングにおいて、関西電力から、
0:49:32	こちらの記載については、今年の2月7日の審査会合の、
0:49:38	資料で提示している内容に基づいて、
0:49:43	記載されたということの説明が前回のヒアリングでありました。
0:49:49	それについて規制庁の方で改めて確認をした結果、
0:49:57	をまずお知らせします。
0:50:04	5 ページの一番下のですね、
0:50:08	中ポツ、
0:50:10	流量については、これの次のページにわたってですね。
0:50:15	この中ポツと、
0:50:24	それから6 ページの一つ目、3 行目ですね、一つ目の中ポツ、
0:50:30	流入範囲及び流用。
0:50:32	分布、
0:50:33	この二つ以外については、
0:50:37	2月7日に説明された内容で、我々規制庁としても、
0:50:44	了解している事項と認識しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:49	で、2月7日に説明された今言った二つの中ポツ、
0:50:54	について、
0:50:55	まず規制庁側から確認と、それから、規制庁としての認識を、
0:51:01	説明していきます。
0:51:03	まず、
0:51:07	流量についてのところですけども、
0:51:11	重大事故等時対応のため、整備している中水曜日放水に係る手順 すべてが同時に実施され、
0:51:23	だとして設定する。
0:51:25	流量です、流量設定ですねこれは、
0:51:29	実効増倍率に対して余裕が小さくなるように言っていますのでち よっと端的に保守的に設定したというふうに、
0:51:37	表現しますけれども、
0:51:41	そのように、
0:51:42	書いてありますんでこれを2月7日の資料で、
0:51:46	見ますと、おそらく、
0:51:50	右下と8ページの、
0:52:04	27ページ。
0:52:10	の一番上ですね、流量、
0:52:14	定量値が書いてありますけどこの横に、
0:52:18	基本ケース条件の条件の説明欄があって、ここで重大事項等対応 用に整備している。
0:52:27	SFPへの注水放水に係る手順を、
0:52:31	すべて同時に実施。
0:52:33	これが先ほど、
0:52:36	保守的な条件設定として説明している。
0:52:40	ところだと。
0:52:42	いうふうに、
0:52:45	書いてある。
0:52:47	のかなあというふうに、
0:52:49	認識しましたけれどもまず関西電力としてはこのことでよろし いでしょうか。
0:52:59	関西電力の山野でございます。はい。ただいま、お示しいただい た通りの認識しております。以上です。
0:53:07	はい。規制庁鈴木です。認識はわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:11	まずそれについて、
0:53:13	審査会合の、
0:53:17	経緯を、
0:53:18	確認しております。
0:53:21	この流量設定について、あまり坂野登っても仕方がないので、
0:53:27	具体、より具体的に議論している審査会合を、直近のものを探してみますと、令和3年4月15日、
0:53:38	第966回の審査会合で議論しておりました。
0:53:45	その内容を、
0:53:51	とまとめて、
0:53:53	読み上げていきますけれども、
0:53:56	もし、実際に見ながらやりたいということであれば、
0:54:02	規制委員会のホームページ、
0:54:05	議事録が載っておりますので、
0:54:09	それを開いていただければ結構かと思えますけれども、
0:54:14	関西電力、
0:54:16	開かれますでしょうか。
0:54:19	その際にはフクハラでちょっと準備しますのでお待ちください。
0:54:25	規制庁蘇武です。鈴木です。了解しました。
0:55:37	はい。関西電力小原です。もう1準備できましたので、お願いします。はい。規制庁鈴木です。議事録のですね。
0:55:47	13ページから14ページにかけて直接的に議論。
0:55:52	しております。
0:55:55	53ページの上から、
0:56:00	8行目のところから、当時、
0:56:03	審査チーム長をやっていた山県対策監の発言、
0:56:07	があります。
0:56:09	ここで言ってますのは、SAのところについては、要するに今回54条2項の話ですので、SAですね。
0:56:17	遠地でちゃんと手順通りにやるとどうなりますかと有効性評価もすべてそうやってますこれ有効性評価って言っているのは、
0:56:26	既許可で言っているテンジウウの、7章のところで行っている内容ですけれども、
0:56:34	そこで、その有効性評価もすべてそうやっていきますけどこういう手順で行いますというのを見て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:41	その手順でやると、有効性評価して評価値を満たしますか満たさないですかとやるわけですねと。
0:56:48	そのパラメーターにそれぞれ不確かさがあるとか物理的ないろいろな不確かさがあるとかその操作が遅れたらどうなるんだという不確かさは、
0:56:57	見ますけど、手順にないことをやるという不確かさを見たりしませんので、よくよく注意された方がいいですよと。
0:57:05	それに対して関西電力から、
0:57:10	関西電力のパートの3行目の、
0:57:14	基本係数というのは手順通りノーマルケース設備士を踏まえて現実的にまずこうだろうというところを気に入っていますその一方で、
0:57:23	不確かさケースというところにつきましてはやや手順外のところも、流量をかさ上げる方向で、
0:57:29	考えているところがありますと。
0:57:32	で、この、
0:57:34	嵩上げしているところについて、再度、当時の山県対策監から14ページの上から4行目、
0:57:43	多分そこは十分注意してやっていただかないといけないとっていて、手順にないことまで含めて有効性評価やるっていうのは、
0:57:52	無茶苦茶になってしまいますと、
0:57:54	全体の枠組みをどう考えられているのかっていうようなところを気にしていますと。
0:58:00	言われまして、また関西電力のパートが真ん中あたりからありますけれども、
0:58:07	2行目の、やはり正有効性評価の考え方の整合性を優先させたいと思いますと。
0:58:14	あくまで水の入るルートであったりという部分はやはり手順内のもので想定を置くということところに変更。
0:58:21	期待ですと、そういうやりとりがありますこれの結果を受けて、
0:58:27	この2月7日の
0:58:29	話になっ最終的にはなっていると思います。
0:58:34	その途中のですね、
0:58:36	審査会合、
0:58:39	令和3年11月16日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	がありますけれども、
0:58:45	そこにおいては、特段、今の流量の設定について、
0:58:52	直接的に何が基本ケース何が不確かさケースなどというような議論は、
0:58:58	していなくて、この11月16日の資料1-2の評価条件表。
0:59:06	をもって解析を実施しましょうという話になって、
0:59:11	2月7日の審査会合でも、今の流量設定の話は、
0:59:16	特段、
0:59:18	具体的にはなくて、解析結果を説明。
0:59:22	されている状況ですと、先ほどの
0:59:28	2月7日の審査会合の右下のページで20、通しページ28ページの、
0:59:35	あ、ごめんなさい。
0:59:38	通しページ27ページですね。
0:59:41	27ページの一番上の、
0:59:44	この表のところについては、
0:59:46	当時、特段説明はしていなかったの、
0:59:50	規制庁としては、基本ケースってのは現実的な条件設定。
0:59:56	の範疇にあるものと認識していました。
1:00:01	で、一方で関西電力の
1:00:05	資料②の記載適正化案はそこが、
1:00:09	手順をすべてやること自体が保守的なんだという説明になっているというふうに、
1:00:16	認識していると理解したんですけれども、その違いがあるということ。
1:00:23	で、
1:00:24	まずは、私の認識に間違いがないかどうか。
1:00:31	関西電力の方発言をお願いします。
1:00:43	違う。関西電力、塚原です。少々お待ちください。
1:00:50	規制庁鈴木です了解しました。
1:02:08	はい。関西電力の福原です。先ほど鈴木さんがですね過去の議事録の議論等っていただいたところは私もすごく、山県さんのやりとりよく記憶しております。もともとですね、我々が未曾有を目を目

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:26	になるような形で資料を出したところ、山口さんの方から、S A の評価のやり方そんなやり方じゃないよということでご指摘いただいて、手順書ベース、現実ベースのものをまず想定を組んだと。
1:02:42	いうことで、変更させていただいた経緯はすごく私もよく記憶しております。で、先ほどの2月23日の会合ならばですね、この会合資料の右下27ページ、
1:02:57	利用料というパラメーターに対して、基本係数の設定方針はアルファベットのスモールCというのを我々としまして、稟議を設定しているわけですけども、
1:03:10	本当に、我々はなぜそのもうCというところを選択スモールCというのは、我々の方で言うところの、保守的な値を現実的な値幅がある場合は取り得る保守的な値を設定すると。
1:03:24	いろいろCになるわけですけども、ここで我々がなぜこれをCと考えたかというのは、ていうのは基本、全部手順書以外の敷設の配管ルートであったりとかっていうことは、それをまず手順書ベースで考えるんですけども、
1:03:44	複数あるでしょ。基本的には、上から順番にごめんなさい今ちょっと生活に教育があるんですけども、順番にシリーズで手順を実施していくことになるんですけども、それらの手順が、
1:04:00	全部同時に実施されていると言うのが、我々してみればやはりかなり保守的に想定される保守的な流量になるなど、こういうふう
1:04:14	に受け取ってますので、そこについては、シート、
1:04:14	いう扱いにさせていただいたものでございます。
1:04:18	ちょっと今お答えになってますでしょうか。はい規制庁スズキ進つか七つって言われたのは、同じ。
1:04:26	2月7日の審査会合資料の下の通しページ32ページ。
1:04:33	で言っている。
1:04:35	注水手順、放水手順、
1:04:38	こんなことを言われたわけですよ。
1:04:41	はい。その通りでございます。はい。
1:04:44	そこで認識の違いがあるというところが
1:04:49	よくわかりました。
1:04:51	ただ、そこについてはこれ、この手順については既許可の、
1:04:57	内容、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:58	ですけれども、既許可において、
1:05:01	どういう審査をしたかというところをしっかりと確認を。
1:05:05	していただきたいんですけれども。
1:05:07	まず、
1:05:08	我々は、設置許可基準規則の 54 条、
1:05:13	これを求めて、これに対する
1:05:17	更新、それから、そこに対する、
1:05:21	S A 手順のガイドの方で、
1:05:25	義審査基準の方で示されている内容に合致したものとして、この
1:05:31	2 月 7 日の資料の
1:05:33	下通しページ 32 ページのこの、
1:05:36	手順とその設備、
1:05:38	これを挙げられて、適合性、
1:05:42	我々が許可したところ、
1:05:45	でありますんで、
1:05:47	その許可した内容というのは、基準の解釈の方を見ていただければもう明らかなんですけれども、
1:05:55	基準の解釈今、
1:05:58	見ることでできますでしょうか。
1:06:05	はい。
1:06:06	関西電力フクハラ具志堅柴さんの分少々お待ちください。はい。
1:07:21	はい。関西電力福原です。準備できました 1 画面にも共有させていただいてます。はい。規制庁鈴木です。まず、
1:07:29	54 条 1 項の、
1:07:31	想定 1 想定にですね想定位置は
1:07:35	冷却を喪失した場合、想定については、
1:07:40	水位が小規模な漏えいで水位が低下する場合、まずここで、
1:07:45	2 月 7 日の審査会合の資料を、通しページ 37、2 ページの
1:07:52	表がありますけど注水手順として①から⑥をやりますということが、
1:07:58	書かれている。
1:08:00	これが、
1:08:02	水を、
1:08:04	回復もしくは維持する。
1:08:06	ために、50 条 1 項として備えた設備であり手順であると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:12	ということです。
1:08:14	これをやっていたとしても 54 条 2 項、
1:08:19	のように、水位が異常に低下していく。
1:08:23	状態が、
1:08:24	継続してしまう場合、
1:08:27	というのが、50 条 2 項でそれが、
1:08:30	書いてあるのが解釈 3 の片括弧 B です。
1:08:34	ここはスプレイ設備は、から始まっていますが、代替注水設備によって、
1:08:41	使用済み燃料貯蔵槽の水位が維持できていない場合、
1:08:46	先ほどの、
1:08:48	2 月 7 日の会合資料、通しページ 32 ページの①から⑥をやっても、
1:08:55	水位が維持できてない場合は、
1:08:58	スプレイ設備、
1:09:00	燃料損傷を緩和できるように、
1:09:03	しなさいということでスプレイを入れるという手順になるということです。それが、
1:09:09	2 月 7 日の
1:09:11	審査会合の通しページ 32 ページで言うところの、
1:09:16	表の下が放水手順の一つ目、送水車にスプレイ、2、
1:09:21	なります。
1:09:22	ですから、
1:09:24	54 条 2 項はスプレイしか入れてないとか、何か一つしかやってないとかそういう状態ではなくって、
1:09:32	そもそも 54 条 1 項で求めた注水設備をやっている、
1:09:38	水位が維持できないからスプレイ設備を入れる、この状態においては、放水砲以外は全部、
1:09:46	動いている状態。
1:09:49	として、対策を打ってかつ手順を備えていなければならないということになっています。
1:09:56	で、放水砲に関しては、解釈 3 の片括弧 C、
1:10:01	の設備ですけれども、これについては、
1:10:04	使用済み燃料貯蔵槽に入るか入らないか議論はさんざん。
1:10:08	しまして最終的にはこれを割り切りで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:11	入れることにしよう。
1:10:13	いうことで
1:10:15	放水砲を打つというところも入れるということにしましたので、この放水砲のところまで、
1:10:21	すべて同時に動いている状態が54条2項の状態だと我々は認識していてそれで、その対策設備と、
1:10:31	手順を備えることによって、許可をしている。
1:10:35	ものです。
1:10:36	ですからすべて同時に動いていることが、
1:10:39	保守的ですよというふうな認識は、これは残念ながら、企業間に於いて評価の、
1:10:45	内容からすると誤解している。
1:10:48	と、理解していますけれども、
1:10:51	従って我々はすべて動いてる状態が現実的な状態。
1:10:57	の範疇だというふうに見ております。
1:11:01	我々乗り、いいたいことは理解していただけますでしょうか。
1:11:22	それでいっぱい。
1:11:25	関西電力の福原です。今の鈴木さんのご説明は、理解できましたおっしゃりたいことはわかりました。
1:11:36	はい。
1:11:38	はい。規制庁鈴木です。従いまして既許可の内容からすると、
1:11:43	手順すべてを同時に実施している状態は、
1:11:50	関西電力の記載適正化案でいうところの設置設計と、設計値等の現実的な条件。
1:11:57	と見なせると。
1:12:00	書くべきだと思いますけれども、
1:12:02	そこについてはいかがでしょうか。
1:12:06	関西電力志村です少々お待ちいただいてよろしいですか。すみません。末広スズキで了解しました。
1:14:12	入った。関西電力の堀田ハラです。すみません。ちょっと先ほど鈴木さんおっしゃられたところを少し聞きそびれたかもしれないんですけども、確認させてください。今の、我々の記載、適正化案、
1:14:28	そうですねその中ポツで流量についてはというところの書き始めが、実効増倍率に対して余裕が小さくなるように。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:39	要は就職を、がついてますけども、そちらについては、そうではなくて、
1:14:48	現実ってだんだん現実的な、
1:14:51	現実の条件となる要件となるよう、
1:14:56	シャポー。
1:14:58	ですよねというふうにおっしゃられているというご理解、理解でやってます。施設の関係です。その認識で結構です。
1:15:07	わかりました。関西電力、小原です。その時にですね、審査会の資料で我々あそこをスモールCという表現してますけども、あそこは市、
1:15:21	でっかいにあるけども、と読みかえるって言ったようなんですけど、
1:15:29	テンパチの北井案の見直しにおいては、
1:15:34	そういう書きぶりに
1:15:37	変更し、
1:15:38	した方がいいかすべきだというふうに受け取っているんですけども、それでよろしいでしょうか。規制庁鈴木です。
1:15:47	スモールA B C D ラージA B C D については、前回のヒアリングにおいて、
1:15:53	その議論はやめましょうというお話をしたと思いますので、
1:15:57	単なる記載適正カーンとして、
1:16:00	設計士等の現実的な条件としているのか、それとも実効増倍率に対して余計余裕が小さくなるように、
1:16:08	設定しているのか、どちらかだけで結構です。
1:16:14	はい。関西電力福原です。了解いたしました。多分ささせていただきます。
1:16:20	規制庁鈴木です。了解しましたというのは設計値等の現実的な条件となるように、すべてが同時に実施されている。
1:16:31	流量で設定したということでもよろしいですか。
1:16:35	はい。関西電力福原です。今おっしゃっていただいた内容の理解で、我々もその認識しております。
1:16:42	規制庁都築です了解しました。続いてですね。
1:16:46	流入範囲流量分布、
1:16:48	のところですけども、
1:16:50	これについては、2月7日の審査会合資料の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:57	右下通しページの、
1:17:01	等、
1:17:05	27 ページ。
1:17:10	ですね、
1:17:14	その、
1:17:19	基本ケース条件の条件の説明のところ、
1:17:24	括弧書きがあって、単位面積当たりの量は放水設備による実際のものより大きい保守的な条件を、
1:17:34	設定すると。
1:17:36	いうふうに書いてあって、
1:17:38	これが今回の摘採適正化案の、
1:17:45	ところの、6 ページの
1:17:48	上から 3 行目、二つ目、中ポツのところ、
1:17:52	実効増倍率に対して余裕が小さくなるようを、全流量がラック面積に対して一様に流入するものとして、
1:18:01	設定すると、ここに繋がるのかなあというふうに、
1:18:06	理解しましたけれども、そ、そういう。
1:18:11	主張だということで、
1:18:14	よろしいでしょうか。
1:18:17	はい。関西電力の福原です。今記載しているのはそういう考えのもとに記載させていただいて、進めさせていただいたものでございます。
1:18:26	はい規制庁スズキそそれでですねそこについては、もうちょっと補足が、
1:18:32	2 月 7 日の審査会合資料でありまして、右下通しページの、
1:18:40	30、
1:18:48	7 ページ。
1:18:53	ですね。
1:18:55	37 ページの基本ケース条件の説明が、
1:19:00	ありまして、ここを読むと、
1:19:04	流量の大部分を占める放水砲について、放水砲に限定していってまして、
1:19:10	単位面積当たりの流量は文献に基づく放水分布から求まるピーク流量。
1:19:17	フットプリントが書いてあって、それに対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:22	打ち出した軸方向の分布、2位のピークがどこに、
1:19:31	老人ら村で説明するようなピークが出ていますけれども、
1:19:35	この
1:19:36	ピーク流量よりも、もう、
1:19:40	ほとぼりが都がSFPを、
1:19:43	大きく困っているのを、
1:19:47	SFP全体に一応に入ったものと仮定して、算術平均した1ラック当たりの流量、
1:19:57	ていうのは、結果的に保守的になってるんだと。
1:20:02	という言い方になってるかと思います。
1:20:07	これについて、もともと流量の設定のところ、全部動かすと保守的なんだよって話があったので、
1:20:15	どの設備を動かしたときに、
1:20:17	代表的にこの流量の範囲だとか、
1:20:21	流量の分布を見るかという観点で、一番流量が大きい放水砲で、
1:20:28	確認をした内容を今記載適正化案に、
1:20:33	書かれているのかなあというふうに思いますけど、先ほど流量の話を、
1:20:39	すべて動かしたときが現実的な条件だというところで改められましたので、
1:20:47	スプレイについては、平均的、
1:20:51	どのラックにも入るように、
1:20:52	設計されていると思いますのでそこは何も疑いはないと思いますけど、
1:20:59	注水設備の注水ヘッダ、常設の注水ヘッダ等、
1:21:04	オペフロに可搬設備をつなぎ込んで注水する注水ヘッダがありますけど、
1:21:10	これらについては、実際に運転している、先ほど言った手順の通り、
1:21:16	すべて運転している状態で、どのように入るかというデータは、今まで説明は、
1:21:23	されてないかと思いますがしおそらくそんなデータはないかと思います。そういったことを考え、
1:21:29	ると、我々としてはもうずっと思ってたんですけどこれ割り切りで、前代の流量が、SFPの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:39	断面積に一応に算術平均値で入るのを、
1:21:45	基本ケースとするのを、
1:21:47	現実的な条件と、
1:21:50	してですね、
1:21:51	その条件の不確かさ、そもそも現象特定できてないので、
1:21:56	不確かさが存分にあると思ってるんですけど、そこについては、また割り切りで、
1:22:01	局所集中である。
1:22:03	4 掛け 4 みたいな。
1:22:06	ところの不確かさの、感度解析をやると。
1:22:11	そういうふうに
1:22:15	実際に議論は一切したことないんですけど、そう思っていたんですね。
1:22:21	今の流量の設定の話も全部含めると、
1:22:26	関西電力としてはこの記載適正化の流量範囲流量分布というのを、
1:22:32	見直す余地があると思われるかそれともこの通り、そのままと思われるかどちらでしょうか。
1:22:58	関西電力フクハラ少々お待ちください。
1:23:03	規制庁鈴木です了解しました。
1:24:46	はい。関西電力の徳原ですお待たせして申し訳ありません。今議論させていただいた点の流入範囲及び粒々流量分布についてはと。
1:24:59	いうところですけどもこちらについても、今書いている実効増倍率に対して余裕が小さくなるようではなくて、
1:25:10	現実的な
1:25:14	条件とよくわかるよ。
1:25:16	現実的な条件的な条件となるよう設定するというふうに変更することで当社としては、
1:25:26	規制庁鈴木です。了解しました。
1:25:30	この二つについて、認識が統一がとれましたので、
1:25:35	他の条件全部含めて、認識は一致しているものと理解しました。
1:25:43	ちょっと、
1:25:49	少し記載が気になるなっていうところは一つだけあってですね。
1:25:54	6 ページ記載適正化の 6 ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:59	三つ目の中ポツ四つめの中ポツ、液膜の集合体の中に入った水が液膜になる。
1:26:07	話なんですけど二つ、丁寧にこれ、
1:26:09	詳細に書かれているので別に
1:26:12	これで問題があるわけでも何でもなくて、しっかり丁寧に書かれているなと思いますけど。
1:26:17	これ一つにまとめて、
1:26:20	すべてが、
1:26:21	液膜になって
1:26:25	全周に一様に形成される。
1:26:27	というふうに書かれてしまえば一つの、中ポツに、
1:26:33	できるかなというふうには思いましたこれは単なる私の心象ですので、
1:26:39	そこについて、適正化されるされないっていうところは別に、
1:26:42	関西電力として気にされる必要はありません。私から、
1:26:48	確認したい点は以上になりますけれども、
1:26:53	関西電力としてはこちらの今、今日、認識が同一統一になりました内容で、
1:27:02	今後補正を考えられると思いますけれども、
1:27:07	その辺のスケジュールについて話を移してよろしいでしょうか。
1:27:16	関西電力の平原です。その前にもう一つだけ、ちょっと先ほど合併させたらいいんじゃないのかというお話いただいたところですけども、ここも我々愚直に中交通区域を絡めた単位で立ててますので、
1:27:32	ここはもうそのままにさせていただこうかなと思うんですけどもそれで大丈夫でしょうか、規制庁スズキで別に何も問題はありませんので、丁寧に書いてある、ここだけすごく丁寧に書いてあるなっていうふうに、
1:27:43	思ったというだけの印象を申し上げました。
1:27:47	ですのでこのままでいきたいということであれば、別に何も構いません。
1:27:52	ありがとうございました。
1:27:55	では、今後のスケジュールに移りたいと思いますけど、
1:28:03	リモートの奥調査官の方向か、
1:28:08	確認しておきたいこととか他にありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:12	はい。ありがとうございます。添付8の記載について前回のヒアリングとちょっとすれ違いがありましたけども今のいろんな中で、随分認識の共有が図れたと思います。特に私の方からございません。
1:28:23	はい。報告調査ありがとうございます規制庁スズキです。では、
1:28:28	スケジュールの方に移りたいと思いますけど
1:28:31	資料を、これ以上、
1:28:34	直す直さないは関西電力にお任せするとしてですね。
1:28:41	補正人の方を、
1:28:44	いつ頃、
1:28:45	準備されるかっていうあたりのスケジュール感をお伺いしたいと思います。
1:28:56	はい。関西電力、小原です。少々お待ちください。
1:29:00	規制庁鈴木です了解しました。
1:30:49	はい。関西電力の福原です。お待たせしました。我々としましてもですねまず伝える適正感しっかり
1:30:59	固まりましたので、手続き済み次第、何でも早く、大前にはお出ししたいなとは思ってますけども、ちょっと設置許可の補正申請となりますと地元福井県さん。
1:31:12	とかっていうの説明といたしますか、その調整もありますので、ちょっとお出しできるというか日にちは、また東京支社形でご連絡させていただくということで、
1:31:23	よろしいでしょうか。
1:31:25	規制庁鈴木です。具体的な日程は結構です。めどぐらいだけちょっと、どのぐらいを目指すか。
1:31:33	そこで地元との話で、ちょっと延びましたっての全然構わないんですけど、
1:31:39	我々も今後の町内のスケジュールとしてどのぐらいで、
1:31:44	準備していけばいいかというちょっと心づもりをしたいところがあってですね。
1:31:49	今のお話ですと、お盆前には何とかしたいという、お盆前というのは具体的に言うと、
1:31:57	8月10日ぐらいまでっていうようなイメージでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:02	関西電力の福原です。それから 11 日祝日になってますので我々としては 10 日を、もう一つの目標にということで、動きたいと思っ てますただちょっと福井県とか、いろいろありますので
1:32:18	それを跨いでしまいますとちょっと後にも入って来ますので、 規制庁さん、
1:32:24	とかうちの東京シャーの対応もありますので、そこら辺またちょ っと相談させてくださいというふうな規制庁数字です。了解しま した。具体的な日にちは改めて、
1:32:36	東京支社として、連絡していただければ結構です我々としてはと りあえず、
1:32:43	10 日をめどに今後のスケジュールをちょっと立てていきたいと思 いますので
1:32:49	もしそれより早くなりそうであれば、なるべく早めに言ってい ただきたいということだけです。遅くなる分には、
1:32:56	構いませんとは言いませんけど、
1:32:59	問題ないようなスケジュールを立てたいと思っておりますので、
1:33:04	連絡の方よろしくお願いします。規制庁側からは、
1:33:09	この程度でいいかと思えますけど国調査官何かスケジュールのこ とでお話しておきたいことありますでしょうか。
1:33:16	いえ、特に追加はございません。はい。
1:33:19	規制庁鈴木です。はい。了解しました。
1:33:23	規制庁側から、今日確認したいことは以上になりますけれども、 関西電力から、全体通して、
1:33:31	何かありますでしょうか。
1:33:36	関西電力の新村です。本日ちょっとご議論させていただいた内容 のちょっとホワイトボードを確認をさせていただければなと思う んですけれども、都築です。はい。お願いします。
1:33:49	今ホワイトボードの方、画面共有させていただいておりますがそ ちら見えますでしょうか。
1:33:57	施設をイトウですはい見えております。
1:34:00	ありがとうございます。本日、2 分までやっていただきましてまず 1 分目のその解析結果の妥当性確認の方から読み上げさせていただ きます。まず①として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:12	0.38 ページですけども、ケース 2 が類似会社さんのプロットにならない理由についてより具体的に、最適原則になる範囲が狭く、水平方向の中でシノミによる効果がきいてくると。
1:34:26	いう旨を記載するということが 1 点目だったかと思います。
1:34:31	2 点目ですけども、全く異常を鉛管という言葉で統一してしまう、その液膜の形状につきまして、
1:34:43	その変換という言葉で統一してしまうと、鉛管の周りに、この関係上の液膜をつけましたというような弁近いベンチマークを実施し、ベンチマーク解析。
1:34:54	を実施したと、というような誤解を生じやすい記載になってますので、円柱と、かなというところは記載を書き分けるということ、を、を適正化いたします。
1:35:04	また、その
1:35:08	別添 3-4 のその第 2 段落の記載につきましては、下部体系で、各原則代替策主と原則で品質になってることを評価できるコードであるということが、
1:35:20	いうことを記載したいと考えております。
1:35:24	3 点目ですけども、1.3-4、策定位置で
1:35:31	この括弧書きで記載をしておりました内容というのが説明の内容としては目標かなというところがございますので、その当該の記載を削除したいと考えております。
1:35:44	四つ目として本日、また、いただきました意見書を確保した格好に基づき、
1:35:52	何か趣旨に基づく、
1:35:56	A. C との比較確認につきましてはこの意見書、(1) (14) 法に基づいて SIMMER 資料を修正するという、この 4 点だったかと考えております。
1:36:07	ただ第 1 部の方、こちらで認識、相違ないでしょうか。
1:36:13	施設をイトウです。はい、第 1 部の方大丈夫です。
1:36:17	ありがとうございます。それでは第二部の方。
1:36:20	になります。
1:36:22	はい。
1:36:26	はい。関西電力の山野でございます。第二部申請書の記載案につきましてはですね、流量については、ということと、流量範囲

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	及びd u部分についてはという二つの項目がございますけれども、こちらどちらも共通しております、
1:36:42	実効増倍率に対して余裕が小さくなるようという枕詞をですね、現実的な条件となるようという形の方に、記載のほうを改めさせていただきたいというふうに考えております。
1:36:53	内容につきましてはこちらで問題なかったでしょうか。
1:36:58	直接おイトウです。はい。こちらで問題ございません。
1:37:03	はい。ありがとうございます。
1:37:10	はい。季節をイトウです。それでは他に何か連絡事項とかなければ、これで終わりたいと思いますけれども、最後に、関西電力側から何かありますか。
1:37:23	関西電力の福原です。非常に資料提出以降ですね頻度を上げてヒアリングを設けていただきまして、本当にありがとうございます。御礼申し上げます。
1:37:39	はい。それでは奥さんからも、大丈夫ですか。ないですか。すいません。東京支社です。はい。ごめんなさい。
1:37:48	改めての確認なんですけど、
1:37:50	今日でこれ資料を反映して提出すれば、
1:37:56	一旦としてはこう仕切られて、どちらかからの申し出はない限りヒアリングとしては終了という認識でよいでしょうか。
1:38:05	規制庁鈴木です。
1:38:07	補正の内容、それから妥当性確認については、
1:38:12	そうかと思えますんで、
1:38:15	それ以外の補足説明資料については、
1:38:20	今出されている最新版の内容を、
1:38:24	規制庁側で確認をしまして、
1:38:31	今回のその最終的な
1:38:34	補正の位置付け、
1:38:37	になるような、
1:38:38	状態になっているかいなかを確認します。もし、
1:38:43	なっていないんじゃないかというふうな思われるところがありましたら、それについては具体的に書面等で、東京支社経由でお渡しして、
1:38:52	修正するかしないかっていうところを、
1:38:57	判断いただければ結構かと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:00	ヒアリングという形では、
1:39:04	もうやらなくて済むかなというふうには思っております。
1:39:09	どう解決しましょうか。
1:39:11	はい、ありがとうございます。
1:39:16	はい規制庁イトウです。衛藤区長サッカーンは特によろしいですか。
1:39:21	はい、ありがとうございます特にございません。
1:39:23	はい。それでは本日のヒアリングは以上としたいと思います。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。